

# 岡田宮

貝原益軒書

## 第 2 号

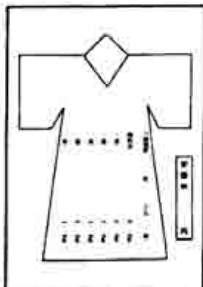
昭和61年7月吉日

発行 岡田宮社務所

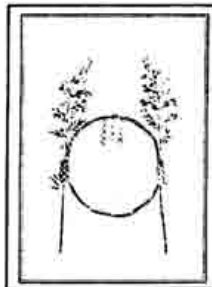
北九州市八幡西区岡田町1番地

郵便番号806

電話621-1898



形代(裏)



形代(表)

## 夏越祭 (七月二十九日)

夏越祭は其の起源古く、昔より旧暦六月の終りに行なわれた大祓の儀式で、「備後風土記」逸文に、貧しい兄の蘇民将来と、富んだ弟の巨旦将来とがあつ



夏越祭茅の輪くぐり神事古図



て、素戔鳴尊が南海神の女のもとへ行く途中で宿を求めた。弟は拒絶したが、兄は泊めて優遇した。素戔鳴尊はこれに報いるため、蘇民一家の者に茅の輪を作つて与え、腰につけさせてその年に流行した疫病から救い、吾は素戔鳴尊なりと告げたとある。

当社におきましても七月二十九日には社頭に茅の輪を設け、その茅の輪をくぐれば悪疫を免れ幸福と繁栄とを招来するという古式に則つた夏越祭を厳修致します。

ご参拝の方は上図の形代に、御家族の、住所、氏名、年令とを書いて、各自の息を吹きかけ初穂料を納めお参り下さい。

当日、お参り出来ない方は前もつて社務所で形代をおあずかり致します。

なお、神事は夕方六時ヨリ執行致しますのでどなたでもお気軽にご参列下さい。

# 黒崎祇園

黒崎祇園は、小倉の太鼓祇園、戸畑の提灯山笠とともに、北九州の三大祇園の一つで、その祇園祭の最後を飾るにふさわしい、勇壮、華麗なお祭りである。

毎年、七月二十日の前夜祭競演会に



(七月二十一日 岡田宮熊手須賀神社御神幸)

守護札を縫い付けている。



祇園行事が終了すると神社にお返しする。

●山笠かきにたずさわる者は須賀神社の守護札を身につける。

つづいて二十一日は岡田宮熊手須賀神社の御神幸及び一宮神社の御神幸、二十一日は春日宮藤田須賀神社の御神幸、そして二十三日は解散式と、古式に則った神事、祇園行事が黒崎の町で行なわれます。

又七月一日より恒例の守護札(左図参照)を社務所で授与しますので早めに受けに来て下さい。

今年も無事故で、無事に全ての行事が終了する事をお祈りします。

なお昨年の競演会の成績は左記のとおりです。

記

七月二十日黒崎祇園山笠競演会

優勝 山寺山笠

準優勝 熊手二番山笠

三位 藤田東山笠

七月二十三日黒崎祇園太鼓競演会

優勝 熊手一番山笠Aチーム

準優勝 熊手一番山笠Bチーム

三位 熊手二番山笠Aチーム



(御神幸にお供する飾山笠)

# 七五三祭

七五三祭は、子どもの成育にともない折り目、切り目に神社にお参りして、いつそこの息災成長を祈る行事です。

三歳の祝いを髪置、五歳の祝いを袴着、七歳の祝いを紐落などと称しますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によって必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行なわれた行事で岡田宮では、十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行なわれます。



(お祓いを受ける七五三の子供達とそこご家族)

なお、昭和六十一年の七五三の年齢は、上記のとおりですので、ご家族おそろいでお参り下さい。

記

三歳 昭和五十九年生  
五歳 五十七年生  
七歳 五十五年生

※年齢はかぞえ年です。

## 郷土地名考②

### 熊手

熊手・藤田ともに中世山鹿庄の三郷三村の一つである。三村の残り一つ穴生がカノウの転訛と考えると、熊手・藤田もそれに近い状態が考えられるが見出し得ない。地形より考えると、山寺の台地、筒井の台地、神原の台地に狭まれた入江沿いにあり、クマは「弯曲して入り込んだ所」、「物かげになった所」くらいの意かもしれない。デは作出（つくりで）のデと同じく分村と考えると、クマデは「入江のかげにできた村」の意とも考えられる。「熊手村書上」は熊崎が転じて熊手となったともいう。仮に、熊崎の地名が存在したとすると、「入り込んだ所の先端」の意であろうか。

### 藤田

藤田は大字名でもあり、小字名でもある。小字としては藤田銀天街周辺を指す。藤田村は熊手村と同様に三村の一つである。古来よ

りある地名であり、小倉や黒崎ほどではないが各地に存在する。岡山県児島湾の奥、国鉄宇野線に藤田がある。前記の地図では他にも宮城県阿武隈高地の下、熊本県球磨郡川辺川畔、福島県国道四号線沿いの国見、埼玉県利根川沿の本庄、和歌山県日高川河口の御坊などに藤田が見える。近辺では粕屋郡粕屋町大隈に藤田、遠賀郡岡垣町吉木に藤田ヶ崎、福岡市東区唐ノ原に藤田原の地名がある。この三者は小名である。これ等のことよりして、藤田は歴史的な事由よりも地形、又は、位置を表していると考えたがよい。位置よりして「長い山裾の田」の意であろうか。

### 大字熊手の小名

神原 西神原町附近。ハル（バル）は「墾る」にて開墾地。岡田神社に関係あるや否や不明。  
下市 旧宿内、熊手蛭子堂より西構口まで。昔市立ちありしという。  
上市 旧宿内、熊手蛭子堂より中橋まで。  
長尾 岡田神社周辺、ナガ十才で長い峰の意か。現、岡田町。  
西長尾 西十長尾。換川の東、岡田町九・一〇番附近。  
下ノ田 字義通り。黒崎駅前、鹿児島本線と西鉄電車の間附近より黒崎一丁目・二丁目附近で現在の中心地。旧前は湿地帯。  
鱈原 黒崎三丁目一三・一四・一五番附近。車庫前電停の東西の地帯。旧前は海であったことを示している。

# 神社なげぜ問答



問、お宮にお参りすると、皆んな手をたたいてお祈りしますが、なぜ手をたたくのですか？

折尾西小三年 柴原

答、手をたたくと音が出ますね、音には嘘がないからです。「神様を拝む私の心には嘘はありません誠心からお願しているのです」と言う清らかな気持ちを伝えるために手をたたいて音を出しているのです。

音は正直ですから音の良い悪いは別にして、そのまま伝えることが出来ます。神様に誠心を伝えたいと言う現し方として手をたたいて音を出すのです。

実はこのことは日本で一番古い書物（古事記）の中に事代主神（この神様の父神は大国主神と言って出雲大社にお祭りしてある）がご自分の国を天津神の御子に譲り渡す話合のとき「私は父の大国主神が言れるようにこの国を差上げます。嘘でありませぬ」と「手を

たたいてお驚いになりました。」と書いてあります。手をたたくことが素直な気持ちを表現する意味であることが明白です。

私等は遠い祖先の神々に世界が平和で人々の産業が発展し、皆んな仲良く生活出来るように、また親子兄弟が健康で天皇様のお国が栄えますように、とお祈りします。このことは嘘ではありません。明るい清らかな気持ちをお伝えします、と手をたたくのです。

商売や取引をする時に「イオーパンパン」と手をたたいて約束したり音楽会や運動会で皆んな手をたたいて誉めたり、嘶したりしますね、それも皆んな嘘のない正直な気持ちを表現する手段ですね、氏神様にお参りしたら心を静かに落ちつけて尊い神様に正直な明るい清らかな誠心をもって先づ二度おじぎをして、手を二つポンポンとたたき自分の思っていることを素直にお願し、次にもう一度おじぎをしてゆっくり静かに引き退下ませう。皆さんの願いは、悪いお願でない限りきくと聞きとどけて下さいますよ。氏神様は皆さんの神様です。また多くの質問をお待しています。

## ◎お知らせ

### ①国旗

「祝祭日に掲げる国旗を売っているお店がわからない。」と言う声に応じて岡田宮では国旗を用意致しましたので、ご希望の方は、お求め下さい。

### ②神社絵本

日本民族に共通する心のふるさとを子供向きにまとめた絵本。大人も楽しめる解説も付いています。興味のある方、又お子供の情操教育にどうぞ。



## 編集後記

●「神社なげぜ問答」を始めましたので、どんな些細なことでも質問をお寄せ下さい。お手紙をお待ちしています。

●また、暑い夏がやって来しました。

●全国各地で行なわれている「祇園行事」、  
「夏越祭りの輪くぐり神事」は、日本人の昔からの猛夏を乗り切る為の行事です。皆様方が無事息災でありますよう祈念します。

●祝祭日には国旗を掲げましょう。  
●一日、十五日は神社に参りましょう。